

公益財団法人 8020 推進財団

令和元年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：

佐世保市における高齢者の総合的な食べる力の評価
オーラルフレイル予防に向けて

2. 申請者名：

一般社団法人佐世保市歯科医師会 山田 雅弘

3. 実施組織：

口から食べる楽しみを支援する協議会（代表：佐世保市歯科医師会会長）

4. 事業の概要：

オーラルフレイルを予防することは健康寿命を延伸することにつながると言われているが市民に充分浸透しているとは言えない状況であると思われる。そこで今回高齢者の食べる力を評価し指導を行うことによってオーラルフレイルの予防及び啓発を行った。またアンケートによるオーラルフレイルの認知度を調査した。

5. 事業の内容：

現在上記団体ではお口の健康を維持し口から食べることの楽しみを保つためにフレイル予防、心身機能の維持・向上する意義を広く市民へ啓発活動や様々な活動を行っている。その中で行う市民参加型のイベント第3回させば健康と福祉フェスティバルにおいて以下の3点の項目について調査を行った。

- I. 参加者にアンケート評価を行い、オーラルフレイルの認知度を調べる。
- II. 参加者に“食べる力”を他職種と協働して評価を行い、摂食指導などを行う。
その際の評価を集計し傾向を考察する。
- III. 協働した歯科医師及び他職種にアンケート評価を行い、オーラルフレイルの認知度を調べる。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

一般市民におけるオーラルフレイルの認知度は低く、同時に行ったフレイルの認知度と比べても低いことが分かった。また口腔管理などを共に行っていく他職種でのオーラルフレイル認知度は高いものの、理解度はやや低く、周知ができていないことが分かった。今後も研修会などを通じてオーラルフレイルの周知啓発をさらに行っていく必要があると思われる。

食べる力の評価においては1～2割の方々に口腔機能の低下が疑われることが分かった。また口腔内状況の悪化が口腔機能だけでなく全身状態にも大きく関連していることが今回の検証において推測できた。

オーラルフレイルの認知度を上げるために引き続き市民に向けて啓発活動を行う重要性と、他職種と協力して口腔内状況を改善し、オーラルフレイル、フレイルを予防していく必要がある。